川崎市直下　マグニチュード7.3　最大震度7

20XX年、川崎市で大地震が発生！あなたはどうする！？

「発災」から「３、４日後」までの４つのフェーズでの被害状況やそのときの行政の取組をイメージしたら、「地域の主な活動」のところでチェックをしてみて、備えを始めましょう。

川崎市直下の地震（冬の18時）の被害想定

●急傾斜地崩壊	314箇所	●負傷者	15,822人
●建物全壊数	22,329棟	●上水道	約35万世帯断水（3日目まで）
●建物半壊数	49,798棟	●下水道	約28万世帯で機能支障（発災直後）
●出火	243件	●電力	約40万件で停電（発災直後）
●延焼焼失	16,395棟	●避難者	361,077人
●死者	819人	●帰宅困難者	34,616人

被害想定調査　川崎市に大地震が起きた日

ポイント　●大地震はいつ発生するか分かりません。そのため、発生時の季節や天候、曜日や時刻などの条件をいろいろ考えてみると、「自分が直面する状況」や「自分が取るべき行動」も変わります。そのように考えを膨らませることで「新たに必要な備え」が見えてきます。

被害の状況

発災

川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3、最大震度7の地震が発生しました。市内で200件以上の火災が発生しました。電気・ガスは供給停止、水道や下水道も多くの世帯で使用できなくなりました。電車は運行を停止、通信も繋がりにくくなりました。

数時間後（～6時間）

市内では断続的に震度4～5強の余震が起き、そのたびに新たな被害が発生していきます。初期消火できなかった延焼が続いています。多くの市民が危険を逃れ、安全な場所に留まっています。同時に、多くの負傷者は救急車で運ばれるか、自力で病院に集まっています。

1日後（～24時間）

地震発生の翌日になっても、市内では震度6弱の大きな余震が発生するなど予断を許さない状況のままです。家屋を失い、長期の避難が必要となった市民は10万人以上にのぼり、避難所での生活を余儀なくされています。一方、自宅の安全が確認できたために、避難所から自宅へ帰る人も現れはじめています。

3、4日後（～96時間）

余震は相変わらず続いていますが、火災はほとんど鎮火しました。避難所でも、避難所運営会議のメンバーだけでなく、避難者自身も一緒に運営に加わりはじめました。一方、多くの市民はライフラインに支障がある中、自宅で生活（在宅避難）をしており、備蓄品が底をつく家庭も徐々に増えてきました。

行政の主な取組

- 身の安全確保
- 安否確認
- 職員参集・体制確保（対策本部等）
- 消火・延焼防止活動
- 被害状況確認
- 医療体制確認・確保
- 救助・救出活動
- 道路啓開作業（緊急車両等の通行路確保）
- 避難所支援
- 受援（他都市・他機関の応援受け入れ）
- 応急給水拠点の開設

消防はすぐに来るとは限りません。そのため、地域や家庭での初期消火をどれだけしっかりできるかが延焼防止のために重要

重症者の受け入れが優先のため、軽症者等は地域や家庭での手当・看護が必要になります。

高層マンションにお住まいの場合は、長周期地震動により大きな揺れが長時間続く場合があるので家具の転倒や移動などに注意しましょう。

阪神・淡路大震災の時は、被災家屋から助け出された人々の約２割が消防によるもので、残りの約８割は自力または地域住民によるものでした。被災直後の救命救急では、地域の救助活動がとても重要になります。

道路が通れなければ、救助活動や被災地外からの応援や支援物資が届きません。

避難所の開設には一定の時間を要します。発災直後から利用できるわけではありません。

地域の主な活動

- 身の安全確保
- 家庭内初期消火
- 救助・救命・初期消火
- 情報収集
- 家族の安否確認
- 安否確認
- 近所同士で声掛け合い、助け合い
- 一時避難
- 在宅避難生活
- 自宅の備蓄を消費
- 勤務先等から帰宅
- 避難所運営（在宅避難できない方は避難所生活）
- 水・支援物資の確保

チェック　初期消火できる範囲や方法などは確認できていますか？

チェック　安否確認方法（災害用伝言版 web171、ラインなど）は確認できていますか？

チェック　日頃から近所の方と挨拶などできていますか？

チェック　停電・断水の状況で何日も自宅で過ごす　準備は整っていますか？（携帯・簡易トイレ、生活用水、着替え、灯り対策、寒さ暑さ対策等）

チェック　最低でも1週間程度は自宅の備蓄品等でしのぐ必要があります。家族分の備えはできていますか？（食料、飲料水、トイレ用品、衛生用品等）

チェック　徒歩での帰宅ルートの確認などは確認できていますか？

チェック　避難所での生活や運営について知ってますか？

チェック　応急給水拠点の場所や何を持っていけばよいかなど確認できていますか？

チェック　自宅内で、家具の固定など安全対策はできていますか？

チェック　一時避難する場所は確認できていますか？

チェック　非常持ち出し袋の用意は確認できていますか？

トイレが使用できないことを前提とした備えが必要です。